

日本・イタリア・フランス・台湾・香港ダンス交流事業
Museum of Human E-Motions 2020
 デジタル・レジデンシー、参加アーティストのご紹介

セゾン文化財団では、イタリア、フランス、台湾、香港のコンテンポラリーダンス機関とともに、ダンス交流事業、Museum of Human E-Motions 2020 を開催しております。

Museum of Human E-Motions は 2019 年にスタートしたダンスのアーティスト・イン・レジデンス交流事業で、身体表現を通じて人間の「感情」について考え、アーカイブする試みを行っています。

本年度は、昨今の社会環境の変化を受け、旅を通じての新しい人や場との出会い、体験の共有が困難となる中で、どのようにアーティスト・イン・レジデンスを実践できるのかという問いとともに、これまでとは異なる環境下でのダンス、また、そのクリエイションのあり方について、デジタル空間で探求します。

文化や歴史的な背景が異なる 5 名のアーティストが、2020 年 9 月から各提携機関がホストするデジタル・レジデンシーを巡り、2020 年 12 月にその成果を発表する予定です。アーティストがデジタル空間でいかに新しいダンスを生み出していくのか、どうぞご期待ください。



敷地理
 Osamu Shikichi
 [日本]
 振付家・ダンサー



ジャコモ・チットン
 Giacomo Citton
 [イタリア]
 振付家・ダンサー



サラ・シャオ
 Sarah XIAO
 [香港]
 ダンス・アーティスト



ファッド・ブスフ
 Fouad Boussouf
 [フランス]
 振付家・ダンサー
 マサラ・カンパニー主宰



リュウ・イエンチェン
 Yen-Cheng Liu
 [台湾]
 振付家・パフォーマー
 大身体製造芸術監督

武蔵野美術大学で彫刻を学び、東京藝術大学大学院で身体をメディアとする創作を本格的に始める。2020年、横浜ダンスコレクション 2020 コンペティション II にて若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞。また、同年、タナポン・ウィルンハグンの振付リサーチプロジェクト『逃避』出演。

パルマでバレエ、モダンダンス、演劇を学ぶ。2015年にバレエ・ジュニア・ド・ジュネーヴに入団し、Sharon Eyal『Bill』、Angelin Preljocaj『Les Nocces』等のコンテンポラリーダンス作品に出演。2017年、Cullberg Balletにダンサーとして入団し、国際的に活動する振付家の作品に参加。

香港演芸学院卒。主にコンテンポラリーダンス分野で活動するが、多様なジャンルのアーティストと協働も行う。2019年、イェール・チャイナフェロシップにより、トリシャ・ブラウン・ダンス・カンパニーのアイリーン・ヘルトマンの指導を受け身体と精神の繋がりに関するリサーチを実施。

モロッコ出身、現在、フランスを拠点に活動する。ヒップホップダンスを出自とし、コンテンポラリーダンス、北アフリカの伝統的なダンス、ニューサーカスと混淆した独自の創作を行う。マサラ・カンパニーのダンサーとともに、現代における喫緊の諸問題に取り組んでいる。

台湾、南投出身。国立台北大学大学院舞踊研究科卒。2013年、北京国際バレエ・振付コンクールにて『Nowhere』により振付特別賞受賞。2014年から2017年にかけて、『Tschüss!! Bunny』を台湾、マレーシア、香港、アメリカ、スペイン、フランス、ドイツにて上演。

Museum of Human E-Motions 2020 スケジュール

- ① デジタル・レジデンシー **コムーネ・ディ・パッサーノ・デル・グラッパ [イタリア]**
9月14日(月) イタリアのヴェネト州にある基礎自治体の一つで、その文化局はヴェネト地方の文化やパフォーマンス・アーツの振興の中心的な役割を担う。毎年、夏に現代演劇とコンテンポラリーダンスに焦点を当てたフェスティバル「B Motion」を開催。若手からベテランまでヨーロッパを中心に活躍するアーティストの作品を上演。European Dancehouse Network (EDN)、Aerowavesのメンバー。
-9月17日(木)
<https://www.operaestate.it/it/festival/bmotion>



- ② デジタル・レジデンシー **ラ・ブリケトリー - ヴァル・ド・マルヌ国立振付開発センター [フランス]**
10月19日(月) パリ郊外のヴァル・ド・マルヌを拠点とする国立振付開発センターで、振付作品の普及や芸術家育成をミッションとし、コンテンポラリーダンス作品の共同製作、スタジオやレジデンシーの運営、ピエンナーレ形式のフェスティバルの開催を行う。IETM や Aerowaves のメンバーで、ヨーロッパ有数の劇場やダンスハウスとの共同プロジェクトを多数展開している。
-10月20日(火)
<https://www.alabriqueterie.com/fr>



- ③ デジタル・レジデンシー **セゾン文化財団 [日本]**
10月27日(火) セゾン文化財団は堤清二氏(1927-2013)の私財によって設立された助成型財団。1987年より日本の現代演劇・舞踊の振興およびその国際交流の促進に寄与するため助成活動を行う。2011年から森下スタジオを拠点にアーティスト・イン・レジデンス事業をスタートする。
-10月30日(金)

公益財団法人セゾン文化財団

- ④ デジタル・レジデンシー **西九龍文化区 Freespace [香港]**
11月16日(月) Freespace は西九龍文化区内の現代パフォーマンスのための新しい拠点で、国内外の新進からベテランまでのアーティストと提携し、領域横断的なコラボレーション、パフォーマンスやイベントを展開している。西九龍文化区は香港のヴィクトリア・ハーバーに面し、文化を核とした都市開発で広く知られる地域で、劇場やコンサートホール、美術館、展示場等を有する。
-11月19日(木)
<https://www.westkowloon.hk/>



- ⑤ デジタル・レジデンシー **衛武宮国家芸術文化センター [台湾]**
12月3日(木) 通称、「Weiwuying」と呼ばれる衛武宮国家芸術文化センターは 2018 年、高雄市の Weiwuying Metropolitan Park に隣接してオープン。港町の高雄の湿度と塩分に耐えることができるユニークな表皮で構成された起伏のある構造が特徴的なデザインとして知られる。台湾ダンスプラットフォームを始め、地元や国際的なアーティストを紹介するプログラムを展開。
-12月6日(日)
<https://www.npac-weiwuying.org/>



- 最終成果発表 インターネット上で発表予定
12月14日(月) 詳細については、当財団のホームページ等で発表いたします。